

ディベート・マッチ「消費税は必要か」－肯定側の反対質問－

肯定側から否定側への反対質問

司会 作戦をやめてください。では、肯定側の反対質問に移ります。時間は8分です。

後藤（肯） 消費税は100円に対し、3円と安いように思えますがどうですか。

黒須（否） 安いです。

後藤（肯） 次の質問ですが、資料をご覧ください。一般会計予算の歳出の部で防衛関係費がありますが、消費税がなくなったら防衛関係費もなくなってしまうわけですが、仮に消費税がなくなったら防衛関係費は何でまかなえばよいのですか。

安藤（否） 他の税で増やせばいいのではないですか。

後藤（肯） 実際に、他の税では、防衛関係費がまかなえないので消費税の分から出しているんですが、どうですか。

黒須（否） そういうことは、国会で政治家に任せるしかないのではないですか。

菅野（肯） 国会で政治家に任せられないから、この消費税から出ているんですけど。

黒須（否） その消費税というものも、その政治家が決めたんではないですか。

本多（肯） 質問を変えますが、税を知れば不正などが少なくなると思いますが、どうですか。

黒須（否） 僕たちも、僕たちよりも小さい人も税を知るっていうことは難しいもので、税を知る方法もあまり与えられていないし、税の使われ方についてもまだまだわからないし、だから、そういうのはちょっと・・・。

高橋（肯） 税を知るには、現に私たちでも、ただ教科書と資料集だけでもこれだけのことを調べられました。3歳児や4歳児では無理でしょうが、私たちは中学3年生なんですから教科書で税のことが取り上げられている以上は、やはり、税のことを知らなくてはいけないのではないのでしょうか。そのために、消費税はとても役に立つと思うのですがどうでしょうか。

黒須（否） 私たちは公民を習っていますが、その税の単元までまだいっていません。

菅野（肯） では、質問なんですけど、あなたたちは、税を知る努力をしているのでしょうか。もし、していないのならば、そういうことをいう資格はないのではないのでしょうか。

安藤（否） 答えられないので、次の質問にしてください。

高橋（肯） 消費税は生産から小売までのあらゆる段階に3%をかけます。だから、低税率で多くの税金が得られます。これのどこが問題点になるのですか。

黒須（否） 消費税でとった税の金額は、全体の何%ぐらいなのですか。

高橋（肯） 資料の2番目をご覧ください。税金の使われ方という欄で平成4年度一般歳入額7兆2兆2480億円のうち、消費税は6.9パーセントの4兆9680億円になっております。

黒須（否） 私たちは、この6.9パーセントという数字が少なすぎてどうにもできないという気持ちなのですが、どうですか。

高橋（肯） どうにもできないというのは、使用目的がないということでしょうか。

黒須（否） そうです。

高橋（肯） 資料2にも書いてあるように、消費税は、全体の6.9%を占めています。さらに、主な使用目的の一番下に書いてあるように、防衛関係費は全体の6.3%で消費税より下回る額になっています。したがって、消費税がなくなるということは、防衛関係費を全てなくすということに等しいと思います。

菅野（肯） 資料の1枚目を見てください。歳入の部で消費税が占める割合は6.9%、つまり、総額7兆2兆のうちの約5兆にもものぼるわけです。もし、この消費税がなくなったら、国の政治にとって大きな負担になると思いますがどうでしょうか。

黒須（否） それはそうですけど、前にも述べたように、他にも消費税以外の取り方があるのではないのでしょうか。

菅野（肯） その取り方とは、具体的に何でしょうか。

黒須（否） 消費税は・・・

司会 時間です。これから5分間の作戦タイムに入ります。判定員の皆さんは判定表に書き込んでください。その後、否定側、肯定側の順で最終弁論に移ります。